

DARC



ダルクマッチングサポート

YAMANASHI

YAMANASHI

FUJIOKA

FUJIOKA

HACHIOJI

HACHIOJI

HACHIOJI

TOCHIGI

TOCHIGI

TOCHIGI

SHIZUOKA

SHIZUOKA

KAWASAKI

KAWASAKI

KAWASAKI

SHIZUOKA

ダルクマッチングサポートのご案内

NPO法人アパリは2000年7月から裁判中や受刑中の薬物事犯者の人たちに、その人に最も合うと考えられるダルクや病院を探して紹介する事業を行っています。

情報シートにご記入いただいておりますお申し込みを受け付けたのちに、原則としてこのパンフレットに掲載の6つのダルクの中から受け入れ先を無償でご紹介します。なお、ケースによってはこのパンフレットに掲載されていない施設をご紹介しますこともあります。

- アパリは2000年にダルク等のリハビリ施設、司法・医療・福祉・教育機関と連携しながら依存症から回復しようとする人たちを支援しているコーディネート機関です。Asia-Pacific Addiction Research Instituteの頭文字APARIから名前が付けられました。
- ダルクは1985年に日本で初めて誕生した薬物依存症者のための民間のリハビリ施設です。Drug Addiction Rehabilitation Centerの頭文字DARC(ダルク)から名前が付けられました。
ダルクは当事者活動です。同じ悩みを持つ仲間とともに暮らし、ミーティングを通して12ステッププログラムを使った新しい生き方を身につける場所です。プログラムは様々な手法を用いています。

対象となる方

1

薬物、アルコール、ギャンブルなどに問題を抱え、やめたいと思っている方

2

薬物、アルコール、ギャンブルなど一人ではなかなかやめられずやめるための仲間が必要な方

3

薬物、アルコール、ギャンブルをやめるためにダルクで本格的に回復プログラムに参加し、社会復帰したいと考えている方

4

過去に薬物、アルコール、ギャンブルで問題を起こし、家族に距離を取られて、生活の場が安定していない方

5

入寮したくても入寮費用の支払いが難しい方(生活保護でも入寮可能なダルクを紹介します)

6

暴力団に登録がなされているが離脱する意思のある方(離脱してから入寮可能。離脱支援もあります)

※ダルクのルールを守っていただけること。ただしケースによってはコーディネートできないこともあります。

ダルクマッチングサポートの流れ

受刑者の場合

一般の場合

1



マッチングサポートを**申し込む**(関係者でも可)
アプリに連絡をして、情報シートを受け取る

2



受け取った情報シートに記入し、
アプリに**返送**、
もしくはFAXにて送信する



3



ダルク施設長会議で情報シートを元に
適切なダルクを**検討**し、決まったらお知らせする

※当日の対応も場合によっては可能です

4



引受先として推薦された
ダルク宛に**手紙**を書く
(引受のお願い、自己紹介など)
しばらくダルクと
手紙のやりとりを続ける

4



受け入れ先が
決まり次第、
本人または担当者に
アプリから**連絡**する

5



双方合意したのち、
身元引受の手続きを
自分でする

5



本人または担当者が
ダルクと直接
連絡を取り合い
入寮日を調整する



施設概要

ファーストハウス／セカンドハウス

2004年に設立した川崎ダルクは多くの依存問題を抱えた方をサポートしてきました。川崎ダルクでは入寮型施設を2ヶ所用意しています。生活環境を整え、薬物がない安全な環境での回復プログラムを行うことで、薬物なしの新しい生き方を実践して、地域の中で行えるトレーニングをします。

川崎ダルク デイケアセンター（男性専用通所施設）

川崎ダルク デイケアセンターは2009年に現在の場所に移転し、より通いやすい環境へ変わりました。センターの周囲には多くの商店街があり、賑わいを見せており買い物には不便しません。川崎ダルク デイケアセンターは地域活動支援センターとして川崎市より補助を受けて運営しています。

- 提携病院：おまもりクリニック、東横恵愛病院、
県立精神医療センター



プログラムの内容

- ミーティング
- 耳鍼灸（NADA JAPAN）
- ワークブック
- 12ステップ
- ハウスミーティング
- ヨガ
- 夕食
- 琉球太鼓
- レクリエーション



◀ 多目的室

ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

入寮

定員：10名（男性のみ）
入寮費：月額150,000円

通所

定員：男性専用施設20名

※消費税が別途かかります。※医療費などが別途かかります。



施設概要

静岡ダルク

静岡ダルクは気候温暖で過ごしやすい静岡県東部に位置し、仲間達との共同生活やミーティングを通して、「12のステップ」を使った新しい生き方を身に付ける場所として回復のプログラムを提供してきました。施設の近くには富士山や海があり、自然の中で楽しめるレクリエーションプログラムが充実しています。ナイトケアハウスは自然豊かでのどかな場所にあります。周辺にはスーパーやコンビニといった買い物ができる場所が一通り揃っており生活しやすい環境となっています。

静岡DARC RSB【自立訓練(生活訓練)事業所】

依存症からの回復プログラムを提供する事業所として、2019年7月に障害福祉サービス事業所の指定を受けました。今までのような「処罰か入院か」とは別のアプローチに基づくプログラムを受け、自尊感情を育みながら生活訓練ができる事業所です。

ブルートホーム【共同生活援助(グループホーム)】

2020年9月に開設された、依存症の回復プログラムを提供する静岡ダルクや静岡DARC RSBのデイケア利用を中心とした生活を送りながら、自立した生活力を身につけるためのグループホームです。

● 提携病院：医療法人十全会 聖明病院



プログラムの内容

静岡ダルクでは段階制プログラムを取り入れています。NAの12ステップやミーティングを基本のプログラムとしながら、各段階に合わせた取り組みを用意しています。先に段階を進んでいった仲間達は後からくる仲間の手助けをすることにより、NAの原理でもある「自分の回復を次の仲間へ手渡す」を実践します。そのような取り組みや仲間達との関りを通して自己を見つめ直し、新しい生き方を身に付けていきます。

- ミーティング(グループセラピー)
- 自助グループ(NA)への参加
- RD(リカバリー・ダイナミクス®)
- エンカウンターグループ
- 運動(山登り、ソフトボール、海水浴、スノーボードなど)
- 農作業
- 地域ボランティアへの参加
- 連携している病院のデイケア利用
- 温泉



ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

入寮

定員：60名(男性のみ)
入寮費：月額155,600円
(初月のみ入寮準備金含め170,600円)

通所

定員：10名

※消費税が別途かかります。※医療費などが別途かかります。



施設概要

1st Stage Center (ファーストステージセンター)

回復動機の確立を目的としています。県北部山間部の那須町に事業所を設置しており、喧騒から離れ、プログラムに向き合える環境となっています。

2nd Stage Center (セカンドステージセンター)

回復を確かなものにしていくための重要な時期をこの施設で過ごします。県南部(県境)の野木町は閑静な住宅街に位置し、集中的にグループワークを行える環境となっています。

3rd Stage Center (サードステージセンター)

社会復帰間近の回復後期・社会復帰期を担う施設です。宇都宮市は中核市という地域特性から社会資源も整備されており、工業やサービス業など就職先となる分野や企業が多い環境です。

Community Farm (コミュニティーファーム)

農作業やボランティアなどを活動の中心にしています。県東部那珂川町の農村地域に事業所を設置しており、穏やかな環境でプログラムを行うことができます。

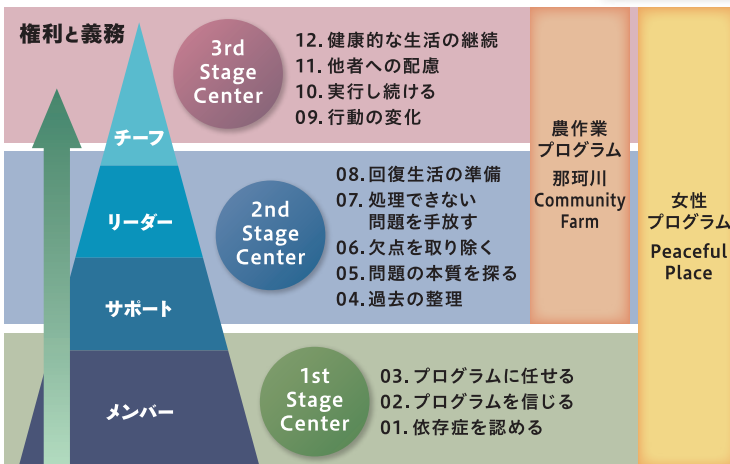
Peaceful Place (ピースフルプレイス)

女性専用の入寮型施設です。回復初期を終えた後には、社会性の獲得と社会復帰準備をしてもらうことを目的とし、宇都宮という地域特性を活かし、アルバイトや関連団体との連携を含め、新しい生き方を続けられる環境を整えることに重点をおいています。

- 提携病院：栃木県立岡本台病院
社会福祉法人 恩賜財団 済生会宇都宮病院



プログラムの内容



- 3StageSystemを採用し、3段階のフェーズを設けています。構造化することにより回復段階が可視化され、利用者に対して明確な指標を提示することを可能としています。
- Stageが変化することと施設が変わることが連動しており、環境の面からも回復を実感しやすい構造となっています。
- 認知行動療法ベースのプログラムをいち早く取り入れ、ミーティング以外の自己理解に対するリソースが整っています。
- グループワークや作業療法を基準とし、プログラムを多く設けることで、個々に合ったプログラムを基軸として回復を目指しやすい環境です。

ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

定員

1st Stage Center : 24名
2nd Stage Center : 21名
3rd Stage Center : 18名
Community Farm : 18名
Peaceful Place : 15名

全体利用定員 : 96名

入寮費

1SC, 2SC, CF : 月額155,000円
(初回+20,000円)

3SC, PP : 月額165,000円
(PPは初回+20,000円)

※消費税が別途かかります。※医療費などが別途かかります。



施設概要

生活支援事業「ダルクホーム」

JR八王子駅から徒歩7分、京王八王子駅から徒歩15分の場所にある初期入寮型施設です。社会復帰、自立に向けて、自炊、洗濯、掃除など、自分のことは自分でできるようにサポートします。仲間と共に暮らす事でゴミ出しや清掃など分担し協調性や社会性を取り戻せるようになります。

自立訓練(生活訓練)事業所「オネスティ」

通所型施設で、治療プログラムを日中に行っています。個別相談やグループミーティングを通して、今後の生活に必要な考え方や生き方を身につけ、続けていけるようにします。就労を希望される方には、状況に応じて、就労に向けた動機付けや情報提供をしながら、社会復帰に結び付けていきます。

- 提携病院：国立精神・神経医療研究センター病院
駒木野病院



プログラムの内容

- エンカウンターグループ
- アンガーマネジメント
- 農業
- ステージアップ制プログラム

特に
力を入れている
特徴的な
プログラム

- ミーティング
- 認知行動療法
- Piece of Recovery
- スポーツ
- ボランティア
- ハウスMT
- クロージング
- 外部講師



ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

入寮

定員：12名(男性のみ)
入寮費：月額160,000円

通所

定員：20名(女性利用可)

※消費税が別途かかります。※医療費などが別途かかります。

〒375-0047 群馬県藤岡市上日野2594

TEL.0274-28-0311 / FAX.0274-28-0313

URL: fujiokadarc.com e-mail: fujiokadarc@hotmail.co.jp



施設概要

藤岡ダルク

藤岡ダルクは標高700mの山間部の自然に囲まれた場所にある入寮型リハビリ施設です。緑豊かな環境のなかで薬物、アルコール、ギャンブル等のアディクション(依存症)が引き起こす問題を、様々なプログラムを通してアプローチし、回復の支援を行っています。断酒、断薬率は100%です。

AREA高崎(通所型施設/障害福祉サービス生活訓練、B型就労支援)

AREA高崎は、男女問わず利用可能な通所型施設です。自立した生活を営むことができるようにし、利用者の方に対し社会への復帰及び参加を目指します。

- 提携病院：群馬県立精神医療センター、赤城高原ホスピタル

▼ AREA高崎外観



▼ 藤岡ダルク外観



プログラムの内容

- エイサー・プログラム(琉球太鼓)

- 音楽・アートプログラム

特に力を入れている
特徴的なプログラム

- グループ・ミーティング

- FUJIOKARPP (FUJIOKADARC RELAPSE PREVENTION PROGRAM)

- アサーティブ・トレーニング
- 感染症予防教育

- エンパワメント・グループ
- レクリエーション/スポーツ

ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

入寮

定員：45名(男性のみ)
 入寮費：月額130,000円
 (初月は145,000円)

通所

詳細はお問い合わせください

※消費税が別途かかります。※医療費などが別途かかります。※上記の他に本人に対しての生活費(1日1,000円)がかかります。



施設概要

山梨ダルク

JR甲府駅から車で10分程の市街地の中にあり、地域と良好な関係を築きながら回復支援に取り組んでいます。また富士山や南アルプスなどが見渡せる自然豊かな環境です。5ヶ所の入寮型施設(ナイトケアハウス)があり、薬物・アルコール・ギャンブル依存症者に回復プログラムを提供し、身体的・精神的・社会的にサポートします。

山梨ダルク デイケアセンター (甲府市地域活動支援センター)

甲府市地域活動支援センターとして、日中の回復プログラムを提供しています。ダルクミーティングを柱に多彩なプログラムを用意し、薬物を使わない新しい生き方を身に付け、社会の中で自立した生活が送れるように支援しています。

回復の旅サポートセンター

障害福祉サービスにおける自立訓練(生活訓練)を行うデイケア。

e-アバウト

障害福祉サービスにおける就労継続支援B型事業所。

ペア・フォレスト／マリーゴールド

障害福祉サービスにおけるグループホーム(共同生活援助)。

クラブハウス

入寮者や卒業生も自由に集えて交流できるスペース。

● 提携病院：公益財団法人住吉偕成会 住吉病院



▼クラブハウス



プログラムの内容

● シェアミーティング

(より良い回復環境にするため利用者が生活やプログラムでの課題を出し合い共通認識を深めるプログラム)

● 地域住民と連携して行うプログラム

(交流ソフトボール大会・地域ボランティア等)

● 季節ごとの野外活動プログラム

(花見会・キャンプ・紅葉祭り等)

特に力を入れている特徴的なプログラム

● グループワーク

● スポーツ

● 癒しプログラム

● ハウスミーティング

● ボランティア活動



ご利用案内

生活保護やその他制度を利用している方も利用可能です。

入寮

定員：56名(男性のみ)
入寮費：月額160,000円
(初月は180,000円)

通所

詳細はお問い合わせください

※医療費などが別途かかります。



ご相談・お問い合わせは

NPO法人アパリ

〒162-0055 東京都新宿区余丁町14-4 AICビル1F
TEL.03-5925-8848 / FAX.03-5925-8984
URL: apari.or.jp
e-mail: info@apari.or.jp

